



東弁ネット研修の新サービス 「研修ツリー」のご案内

弁護士研修センター運営委員会副委員長 前田 哲兵 (63期)

新サービス「研修ツリー」をリリースしました

当センターでは、他会では類を見ないほど多くの研修を実施しており、それらを「東弁ネット研修」としてストックしています。

その数は約600講座もあり、掲載分野も、離婚、相続、労働、知財など多岐にわたります。

ただ、「掲載している動画の数が多くて、どの動画を観たらいいのか分からない」というお悩みもあろうかと思えます。

そんなお悩みを解決すべく、この度、「研修ツリー」という新サービスをリリースいたしました。

研修ツリーの内容

「研修ツリー」は、以下の代表的な分野ごとに、当センターがお勧めの講座をピックアップしたものです。それぞれの分野ごとに入門編、基礎編、アドバンス編から構成されています。なお、掲載分野は今後さらに増える可能性があります。

研修ツリー掲載分野

- ①離婚、②後見、③相続、④交通事故、⑤外国人、⑥破産・再生、⑦不動産、⑧企業法務、⑨知財、⑩労働、⑪インターネット、⑫消費者、⑬経済法・金融法、⑭刑事

まず、入門編は、「当該分野の業務を初めて扱う際に全体の概要を掴むこと」をコンセプトにしています。初めにざっと観ることを目的としていますので、入門編は1コマ（約2時間）を原則として、敷居を低くしています。

次に、基礎編は「当該分野の業務ができるようになること」をコンセプトとして6コマ程度ご用意しております。入門編を観ていただいた後に、基礎編を通して6コマ観ていただければ、当該分野の事件処理に必要な知識・ノウハウを、一通り得ることができるかと思います。

そして最後に、アドバンス編は、「当該分野の業務開拓に資すること」をコンセプトとして6コマ程度ご用意しております。こちらは、基礎編を観て研鑽を積まれた会員（もしくは既に当該分野の基礎的な知見をお持ちの会員）が、当該分野における知見をさらに深め

るために観ていただくことを前提に選定しております。

このように、ご自身が研鑽を積みたい分野について、入門編、基礎編、アドバンス編と順番に学んでいただくことによって、自然とステップアップできる仕組みになっています。ご利用くださった方の知識が少しずつ着実に育っていく様子を樹木の成長にかけて「研修ツリー」と名付けました。

モチベーション維持のため

自己研鑽が大切なのは言うまでもありませんが、その結果というのは目で見ることはできませんし、誰も褒めてもくれません。自己研鑽に励むことは弁護士として当然のこととされていますが、とはいえ、モチベーションを維持することは容易いことではありません。

そこで、今回の改修では、研修サイト上に、会員1名につき1本の研修ツリーを用意し、1人1人の受講状況によって、それぞれの研修ツリーが成長していくような仕組みを採用いたしました。

いわばスタンプラリーのように、ご自身が着実にステップアップしていく様子を楽しんでいただき、モチベーション維持に役立てていただければと思います。

訪れたいサイトを目指して

研修ツリーのサイトのコンセプトは、「訪れて楽しいサイト」です。

上記のとおり、14つの各分野ごとに入門編、基礎編、アドバンス編をご用意しているわけですが、例えば離婚事件の「入門編」を観終えると、ご自身の研修ツリーの離婚事件の蕾が色づき、その後、「基礎編」を観ていくとその蕾が徐々に開花し、「アドバンス編」を観終える頃にはその花が満開になっているという仕掛けを施しています。

また、ご自身の研修ツリーにある14つの蕾や花をクリックしていただくと、当該分野の受講状況の詳細を確認できるようになっています。

蕾から満開までの変化は6段階ございますので、ご自身の研鑽・努力の過程が着実に目に見えて把握できるかと思います。

是非、一度、サイトを訪れてみてください。皆様の研修ツリーに満開の花が咲くことを願っております。

① 入り口は、東弁ホームページの会員サイトから

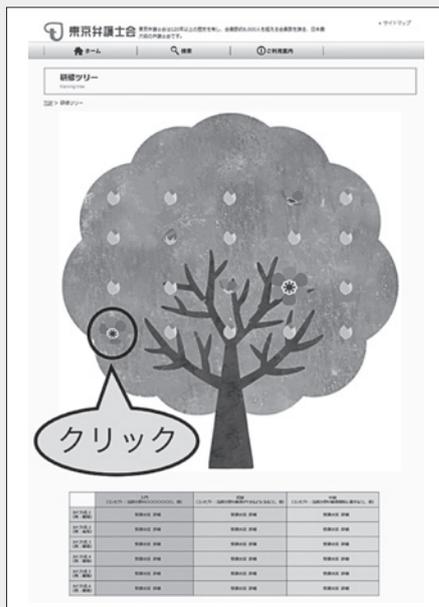


② 東弁ネット研修サイト上の「研修ツリー」をクリック



!
 なお、これまでの東弁ネット研修サイトとは入り口が異なります。従前の東弁ネット研修サイトにブックマークをつけてくださっていた方は、ブックマークを付け直してください。

③ 研修ツリーサイトの全体像



④ 各分野ごとの詳細ページ



その他の改修について

研修サイトの利便性向上のため、今般、以下の改修も行いました。

- ◆従前は、ネット研修に会員登録をしないと研修サイト内にもどのような研修があるのか閲覧することができませんでした。しかしそれですと、「サイトの中にもどのようなコンテンツがあるのか見てみたい」というニーズに答えられていませんでした。そのため改修によって、そのような登録をせずとも、サイト内を自由に閲覧できるようにいたしました（ただし、下記のとおり、実際に視聴する際は、従前どおり原則有料です）。

- ◆従前は、ネット研修に会員登録をするには、一律、年会費5000円（ただし、いわゆる貸与制世代である新65期～70期は無料）を支払う必要がありました。しかしそれですと、「この講座1つだけをとりあえず観たい」といった特定のニーズに応えられていませんでした。そのため改修によって、年会費5000円を支払わずとも、1講座単位でコンテンツを購入できるようにいたしました。
- ◆支払い方法として、銀行振り込みの他、クレジットカード決済にも対応いたしました。

リニューアルされた東弁研修サイトが会員の皆様に親しまれることを願っております。